

# 平成30年度取組状況

ものづくり工学科 一般科目 教授 門多 嘉人

取組状況	
教育	<p>①授業前半において準備体操とともに、トレーニングを取り入れることができた。学生たちがトレーニングを積極的に行うことができるように内容やタイミングを検討していくことが課題となる。</p> <p>②1年生を担当したが現状としては班別学習を展開できる状態ではなかった。しかし、サッカー教材では班の中で話し合いをしてポジションを決定してゲームをすることができた。</p> <p>③班別学習の中で、自分たちのゲームを撮影し、それを分析・検討しいい点や改善点を指摘しあいながら技術の向上を図ることができていた。</p> <p>④学生たちとのコミュニケーションを多くとった結果、授業中も学生たちからルールや技術に関する問いかけもみられた。</p>
研究	<p>①バスケットボールの研究については、今年度は検証をおこなうための資料収集が主な活動となった。</p> <p>②新体力テストの結果から、1年生から3年生まですべての学年において、筋力・筋持久力、心肺持久力が全国の高校生に比べると顕著に低いということが判明した。特に、心肺持久力が顕著に低いことがわかった。今後保健体育の授業において、年間を通して持久力を養成する種目選定やトレーニングを実施する必要があると言える。また、測定に対しての動機づけを高めることも必要となる。</p>
社会貢献	<p>①夏季休業、冬季休業中に近隣中学校との練習試合をおこなった。多くの生徒が参加してくれていた。</p> <p>②地域貢献 学校施設開放業務 事務室と連携を図りながら学校体育施設の開放事業をおこなった</p> <p>③バスケットボール界への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般社団法人東京都バスケットボール協会 (指導者育成委員会、総務委員会)</li> <li>・一般社団法人関東学生バスケットボール連盟 (代議員)</li> <li>・東京学芸大学女子バスケットボール部コーチ</li> </ul>